

4年生 自習課題

～水のゆくえ② 2/17～24

前回の実験、できましたか？やけどなど、大丈夫でしたか？

今回も実験ですが、前回は今回も、外に出れない、用具が揃わないなど条件によっては出来なくても大丈夫なので心配しないで下さい。（次回、動画で確認するので、それを見れば結果はわかります。予想など、できる部分だけがんばりましょう。）

前回の実験は、「すがたをかえる水」（教科書 p.146～159）の実験でした。残念ながら、この単元の他の実験には温度計が必要なので、できません。でも大丈夫！今回の課題が終わってから、動画を見て実験したつもりになることにしましょう。

その前に、もう一つ実験を…。教科書によって書いてある順番がちがうので、今、先にその動画を見たら、次の実験の答えがわかってしまいます…という事で！

↓ ↓ ↓

まだ水についての勉強がつづきます。水といえば、台所やお風呂で使うだけでなく、雨や雪でふったり川を流れたり自然の中にもたくさんあります。雨の次の日や、その次の日を思い出してください。いつの間にかなくなっていますよね。では、**雨でふった水は近くに川がない場合、どこに行っているのでしょうか？**

（予想）

・・・では、調べてみましょう。ちょっと時間がかかります。

今回の実験は、「自然の中の水」（教科書 p.160～171）の実験です。

ちなみに2月10日にかれらに会いました。元気そうでしたよ。 →→→→



【準備】

(準備物)

プラスチック容器4こ

※モンシロチョウを育てた容器くらいの大きさと中がすけて見える感じのもの

(実験前に)

雨の後、水たまりになっていそうな場所で、もう水たまりのない場所を見つける。水のしみ込みそうな所（土、花だん）としみ込みそうにない所（道路、コンクリート）を見つける。屋上やベランダでも OK

・・・今回は準備物は少ないですが、場所が大切です。1日その場所に容器を置いていても風で飛ばされない工夫（上に重しとして石を置く、容器のはしを釘（くぎ）で打って固定する、など）と、ゴミと間違われて持って行かれないメモ（実験中、小学4年生〇〇など）をつけましょう。



実験③ 自然の中での水のゆくえ調べ

(目的) 雨の水など屋外の水がどこに行くのかを調べる。

(予想) ※1 ページ目で予想したことをそのまま書けば OK

--

(方法)

1. 朝、乾燥したプラスチック容器を4カ所の地面の上にさかさまにして置く。
※風で飛ばない、ゴミとして持って行かれない工夫を！
2. 昼過ぎ、夕方、次の日の朝の3回容器の内側の様子を観察する。

(結果)

	水のしみ込みそうな場所 ()	水のしみ込みそうにない場所 ()
設置後すぐ		
昼過ぎ		
夕方		
次の日の朝		

(考察) 実験①、②で見たものと比べて考える。

--

※実験しているところの写真(容器観察した時4回分)を、できればとっておきましょう。